

HAND SIGN 公演

会場であたたかにお客さまの声から

❖ クラシック音楽が好きなので、最初はダンスパフォーマンスについていけるかなと思っていたが、会場を巻き込んだの手話ダンスと一緒に踊っていたら楽しく、以前学んで忘れていた手話を思い出した。こんな一流のダンスを若い人たちにも観て欲しいですね。

(長久手市 50代男性)

❖ HAND SIGNが大好きで彼らのコンサートによく行きます。昨日、名古屋の豊学校で今日のコンサートの話をしたが誰も知らなかった。もつとPRをして多くのろう者に観て欲しかった。

フレンズのみなさんも彼らを応援して下さいね。

(大阪府 20代女性 ろう者)

❖ ダンスは素晴らしかったです。ただ、音楽が切れたり、映像とダンスの間に微妙な間があったり、構成にまとまりがないと思えました。伴奏の音もあまりよくなかったのが残念でした。

(長久手市 40代女性)

❖ 友人のために手話通訳をしたことがあるので興味がありません。来ましたが、彼らは言葉を伝えたいという気持ちがよく出ていて分かりやすい手話ダンスでした。

こんな素晴らしい企画は豊学校や中学・高校の生徒たちにも紹介したいと思います。

(長久手市 60代女性)



舞台の上で軽快にダンスパフォーマンスを繰り広げるHAND SIGNのメンバー



公演を前に行ったダンス講習会に参加された皆さんが舞台に上がりHAND SIGNのメンバーと素敵なダンスを披露

この日 公演をお手伝いをしていただいた

「手話仲間 サンドイッチ」の活動を紹介します

HAND SIGNの公演当日、舞台やホールなどで手話通訳をしてくださったのは「手話仲間サンドイッチ」の箭野貴美さんと岡島麻鈴さん。お二人とも10年以上の経験があるそうです。

「手話仲間サンドイッチ」は昨年5月に長久手で結成され、各地の市民祭りな



会場で手話通訳をしてくださったサンドイッチのお二人

ど各種イベントでの通訳や、他の手話サークルとの交流を通じて手話を広める活動をされています。

「今日のような、舞台での通訳は緊張しますが勉強になり、良い経験になりました」と話されました。

手話はもう一つの言語でろう者には健常者と違った文化が存在し、手話が話せることで両方の文化が理解でき世界も広がるそうです。

また「たとえばスーパーでのタイムセールのお知らせや、駅の緊急アナウンスなどは、ろう者には伝わらないので電光掲示板などでもっと表示していただきたいと思えます。もしろう者から何か尋ねられたら手話ができなくても筆談や身振り手振りで応じてくださればうれいです」と話され、手話ができる方の視点でのお話はたいへん参考になりました。